

配布資料

以下のコレクションの資料データ（一部を見本として）のほか、長尾一雄資料から参考資料。

・高井富子コレクション

・池宮信夫コレクション

・石井満隆コレクション

・辻村和子コレクション

・副島輝人コレクション

長尾一雄（ながお・かずお）

1932年5月12日、東京生まれ。1998（平成10）年死去。

慶應義塾大学文学部文学科國文学（日本中世文学）専攻卒業。文学部研究科修士課程修了、博士課程単位取得退学。その後、慶應義塾高等学校教諭、慶應義塾大学講師を務む。

能、歌舞伎、舞踊などの古典芸能に接する。さらに新劇、前衛劇、モダンダンス、舞踏などにも関心を寄せる。1960年頃より専門紙・誌や一般紙・誌に筆を執り、批評活動を開始。「三田文学」の編集に携わり、古典芸能の批評、紹介に加え、最も早く唐十郎の戯曲を活字化。土方巽らによる舞踏の創始にも関心を示し、前衛芸術をも紹介する。

著書に、『能百番』筑摩書房、1975 『能の時間』河出書房新社、1995 『現代能楽師論』能楽書林、2000（序文自筆・没後編集）

体表現のアーカイヴをめぐる討議が成立することを望みます。

2018年度は慶應義塾大学アート・センターにおけるアーカイヴ設置20周年でした。20年前、20世紀の終わり頃は、まだ「アーカイヴ」という用語さえ聞き慣れない時代でしたが、アート・センターは「ジェネティック・アーカイヴ・エンジン」として、アート・アーカイヴの構想を定め、土方巽アーカイヴを発足させました。アート・アーカイヴのパイオニアといっていいでしょう。

2018年には、20周年を記念する事業として、アーカイヴをめぐるシンポジウムを開催しました。もとより、シンポジウムの開催でアーカイヴが進展するわけではありませんが、アート・センターとしても、新たにアーカイヴ活動に取り組む方向が確認されています。とはいえ、成果を見るためには困難な課題は残されたままです。

本日の公開討議は、あらためてアーカイヴの意義を見出だし、課題を明らかにしつつ、アーカイヴの展望を切り開きたいというところです。

そのためにも、参加者の皆さまのご発言、ご意見、ご提言、ご批判を切にお願いするところです。

これまで8年にわたって、土方巽の命日1月21日には、「土方巽を語ること」を実施し恒例としてきました。本年の命日は、恒例のイベントをとりやめ、アーカイヴをめぐるの公開討議を開催します。

近年、土方巽と舞踏への問いかけが、新たな関連資料の発見や提供とともに続いています。舞踏家土方巽をより深く知るために、また舞踏と舞踏が沸騰したその時代をより広く知るためにも、新たな資料へのアクセスは不可欠です。

アーカイヴの使命は、何とんでも資料の収集と公開の連続にあります。資料の収集と整理、データの作成、資料の提供といった地道な活動がアーカイヴ活動の基盤です。

本日の公開討議では、近年、アート・センターに収められている諸資料体（コレクション）を紹介しつつ、それらがアーカイヴとして成立するのかどうか、どのようなアーカイヴがありうるのか、さらに、そのための現実的で具体的な条件を問いかけることとなります。

いまだ、それぞれのコレクションを十分に検証するまでには至りませんが、すでに貴重な資料が発見されていることは言を俟ちません。アーカイヴとしての問いかけは喫緊の課題であり、同時にアーカイヴのためには、将来にわたる息の長い作業と調査が必要です。

また、ダンスをはじめパフォーマンス研究にあっては、アーカイヴ・マインドを促すために、「アーカイヴとレポトリ」 という考え方も採用されます。形として残る資料をアーカイヴすることとともに、形として残らない身体表現を「レポトリ」として継承する作業です。そのためには、アーティストとともに隣接するさまざまな表現や研究と協働する必要があります。

本日は、問いかけと可能性をもって、舞踏をはじめ多様な身

HIJIKATA Tatsumi 土方巽 ARCHIVE アーカイヴ

公開討議

2019年1月21日（月）18:30-21:00
慶應義塾大学三田キャンパス 東館5階会議室

Monday 21 January 2019 6:30 pm – 9:00 pm
Keio University (Mita), East Research Building 5F Conference Room

発言者：池宮中夫 石井真理子 木部与巴仁 吉増剛造

Guest Speaker: Nakao IKEMIYA, Mariko ISHII, Y. KIBE, Gozo YOSHIMASU

主催：慶應義塾大学アート・センター
企画：慶應義塾大学アート・センター土方巽アーカイヴ
協力：土方巽アスベスト館、20世紀舞踊研究会

問い合わせ：慶應義塾大学アート・センター [担当：森下]
TEL:03-5427-1621 moris@art-c.keio.ac.jp

Information: Hijikata Tatsumi Archive

KUAC-leaflet-19-12